

## 第1章 接触体験

昔多くの方は弟妹の養育の手伝いを余儀なくされた。様々な体験のうちに対児感情は生成し、のちの対児感情の発達に多大の影響を及ぼすことになると考えられる。(佐藤、2004)

## 第2章 対児感情

母親の児に対する感情は母性愛と呼ばれてきたが実際は児に対し複雑な感情を持っており、また児に対する感情は未婚女性や男性も持つ感情なので対児感情と呼ぶ。(花沢、1992)

## 第3章 調査

【目的】本研究においては、子どもとの接触経験がある人の方が対児感情・育児イメージは良い、男性より女性の方が対児感情・育児イメージは良い・弟や妹がいる人の方が対児感情・育児イメージは良い、以上3つの仮説をたてた。

【方法】対児感情評定尺度、乳児・幼児接触体験質問紙、子育て観尺度を用いて淑徳大学生男女を対象とした質問紙調査を行った。有効回答数は214人、分析にはSASを利用した。

【結果】相関分析(表1,2)の結果、男女共に幼児接触体験は対児感情尺度と子育て観尺度と有意な相関がみられた。しかし、乳児接触体験には女性しか対児感情尺度と子育て観尺度に有意な相関がみられなかった。また、男女共に対児感情尺度と子育て観尺度に有意な強い相関がみられた。t検定の結果、女性より男性の方が対児感情・育児イメージは良い、弟妹がいない人の方がいる人より対児感情・育児イメージは良いという結果が出た。

表1 男性の乳児・幼児接触体験、対児感情と子育て観の相関

表2 女性の乳児・幼児接触体験、対児感情と子育て観の相関

	男性(n=69)			相関関係			女性(n=144)			相関関係		
	平均	SD		1	2	3	平均	SD		1	2	3
1 乳児接触	41.3	10.2					1 乳児接触	35.4	12.1			
2 幼児接触	40.4	9.6	0.82***				2 幼児接触	34.1	11.9	0.86***		
3 対児感情	58.8	9.2	0.11	0.25*			3 対児感情	52.1	8.7	0.30***	0.29***	
4 子育て観	54.4	11.2	0.23	0.35**	0.68***		4 子育て観	50.1	9.1	0.31***	0.31***	0.64***

\*\*p<.05    \*\*p<.01    \*\*\*p<.001

\*\*\*p<.001

【考察】幼児接触体験は男女とも対児感情と育児イメージに関わりがあることがわかった。女性にのみ乳児接触体験と対児感情・子育て観尺度に有意な相関がみられたのは、男性と違い女性は自身が出産を経験するので、乳児と接触することにより母性本能が助長され対児感情と育児イメージに影響を与えてたのではないかと考えられる。男性の方が対児感情、乳児・幼児接触体験、育児イメージすべてにおいて高い結果になった要因として、今回調査を行った男性が女性より接触体験が多いからと考える。弟妹がいない人の方が対児感情、育児イメージが良く、接触体験が多いという結果になった理由として、対児感情は世話をすることにより子どもと育児の良い所とその反面大変さを感じたのではないかと、また接触体験は質問紙の説明部分で、「弟妹を含む」ふれあい体験と記載する必要があったという実験手続き不完全が要因ではないかと考える。

## 第4章 参考文献

花沢成一 「母性心理学」 医学書院 1992 陳東ら「乳幼児を持つ親に対する子育て観尺度の開発—信頼性・妥当性の検討—」 千葉看会誌 VOL.12No.2 2006